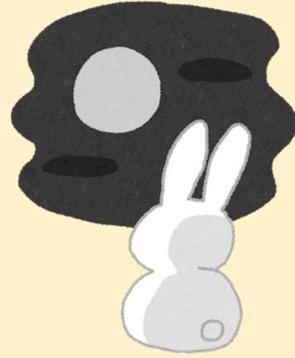


# ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部



赤信号ひととき秋の一句詠む

仲町 梅基文子

敗戦日語り継ぐ人みな老ゆる

旭町 大河博子

夏草の目に余るほど育ちよく

西町 岸波君江

父母のいた故郷に咲く芋の花

西町 杉浦とし枝

ラベンダー香りに映える大雪山

藤本町 鈴木ゆき子

草原の白が際立つ草ロール

西岡町 高瀬久美子

コスモスや向かふ三軒風の筋

仲町 玉野研一

盆三日詣る佛浄らなる

東町 高橋世津子

人寄せぬ川辺の疎林樹氷咲く

仲町 芳賀星子

釣り糸も動かず湖の晩夏なる

西町 金澤頼子

月涼し玉三郎の舞を観る

元町 印牧安子

一杓の水音涼し薄茶点つ

仲町 坂部和子

手を止めて夕焼け仰ぐ厨窓

元町 西崎弘子